

株式会社ハレルヤでは、地元・徳島と共に歩む企業として、
環境にも配慮し、人も自然も豊かなまま、未来に残していくための新たな取り組み(ESD・SDGs)を始めています。

ESDってなに？

ESD (Education for Sustainable Development) とは、自分たちの幸せだけでなく、次の世代も幸せになるために、今私たちができることを考え、行動につなげることを学ぶ教育です。ハレルヤスイーツキッチンでは、工場見学などを通して、この ESD の考え方を身近なものとして知ってもらうために、「ESD の場」としての取り組みをスタートさせます。

SDGsってなに？

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された国際的な行動指針で、「持続可能な開発のための目標」と訳されます。株式会社ハレルヤでは、次の世代に豊かな徳島の環境を手渡すために、SDGs 17 の目標のうち、下の 7 つの目標を主に企業の活動に取り入れています。



1



お菓子作りから生まれる、地域との新たなつながり

株式会社ハレルヤでは、お菓子を製造するにあたり「地域循環」の考え方を大切にしています。例えば、形が不揃いで市場に出回らない規格外農産物を使ったスイーツの開発や地域農産物の発掘など、地域や地元生産者との関係性を育みながら、徳島発の美味しいスイーツをお客様にお届けするために日々努力を重ねています。

なると金時

徳島を代表する農産物である「なると金時」。地元農家と提携し、品質の高いなると金時をお菓子に使用するとともに、形が不揃いで規格外となってしまうものも積極的に有効利用しています。

那賀町・木頭ゆず

地元生産者や販売加工企業、自治体等で作られた「木頭ゆずクラスター協議会」のメンバーとして木頭ゆずのアピールに力を入れるとともに、数多くの木頭ゆずを使った商品を開発しています。



2



女性がやりがいを持って働ける環境づくりを

株式会社ハレルヤでは、パティシエや管理栄養士、店舗スタッフや営業職など、多くの女性が活躍しています。結婚や出産をはじめ、個々のワークライフバランスに合わせてやりがいを持って働けるよう、社員ひとりひとりの状況に合わせて、勤務日や時間の配慮、新しい部署の設立などを行い、長く働ける環境づくりに取り組んでいます。

女性社員インタビュー〈松本あかりさん〉

2011 年 4 月に入社。株式会社ハレルヤ 商品開発部・店舗企画課で、地元の食材を使ったお菓子の開発や、パッケージ・店舗内の広報物の制作、イベントの企画を担当する。「結婚・出産後は時短勤務で働いています。子供との時間を持てるのが復帰後の一番の不安でしたが、朝夕は少し余裕を持って子供と過ごしています。職場は女性が多く、子育てされている方もいらっしゃるの で周りに相談しやすい環境です」



3



水都・徳島の豊かな水資源を守るために

ハレルヤスイーツキッチンでは、お菓子の製造で使用した水を、微生物の力を使って汚れを取り除く「活性汚泥法」という仕組みを使って浄化し、川に流しています。水は「食」と「人」をつなぎ、命を育む大切なもの。お客様に直接届く商品だけではなく、お菓子作りに必要な吉野川からの水の採取・排出にも気を使い、水都・徳島の豊かな水資源を守っています。

吉野川

ハレルヤスイーツキッチンには「金長まんじゅう」などに用いる製餡(せいあん)の設備があり、お菓子を製造する上で多量の水を使います。工場内でのように水を使用し、どのように排水されるのかなど、お菓子作りに欠かせない水の役割や、「食」「人」「水」との関わりを、工場見学を通して学んでいただけます。



4



次の世代へつなげる、社会循環の取り組み

創業以来、地元・徳島の皆様に支えていただいた感謝の気持ちを社会へ還元するための取り組みとして、株式会社ハレルヤでは、フェアトレード商品の開発や、社会福祉活動を行う団体の支援などを行っています。今後も SDGs の目標を積極的に企業活動に取り入れ、次の世代へ豊かな環境を手渡すための取り組みを拡げていきます。

社会福祉団体への寄付活動

地元・徳島の皆様に世代を超えて親しまれてきた「金長まんじゅう」。その 5 個入りパックの売り上げの一部を、事件や事故、災害等に遭われた被害者や被害者のご家族に対して支援を行う公益社団法人へ寄付しています。

